

学校名 秩父市立尾田蒔中学校  
所在地 秩父市寺尾2006番地  
電話 0494-23-9234

## 1 本校の概要

本校は、南に武甲山、眼下に荒川を望む尾田蒔丘陵に位置する全校生徒152名の小規模校である。

校区には、江戸時代後期の大規模な養蚕農家である内田家住宅をはじめ、札所23番音楽寺や招木古墳など多くの史跡がある。また、県指定有形民俗文化財である萩平歌舞伎舞台は現在も使用され、毎年10月には本校生徒も舞台上で子供歌舞伎を上演している。

## 2 本校の実践

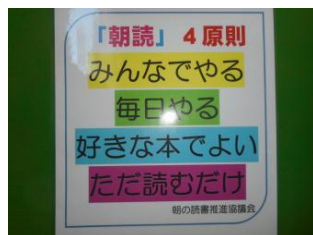
### (1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

### (2) 実践の概要

#### ア 朝読書

朝会がある火曜日を除き、毎日8時30分から10分間行っている。朝読4原則に基づき、本に親しむ時間となっている。



#### イ 秩父市立図書館との連携

朝読書用の図書については、市立図書館の貸出しを利用し、生徒の幅広い興味に対応している。



#### ウ 新刊図書の紹介

新刊図書は、カバー等を活用し、図書内容とともに新刊図書コーナーで紹介している。生徒の新刊図書への関心を高めるのに有効である。



## エ 図書だよりの発行

生徒が図書に興味をもつよう毎月発行している。

たよりの内容は、作家や新刊図書の案内、本を多く借りた生徒の紹介などである。また、保護者への貸出期間の案内も行っている。



## オ コンピュータによる蔵書管理

図書館の全蔵書を登録し、図書委員会による図書の貸出の際、活用している。その結果、蔵書数や年間貸出数の管理の負担が軽減されている。



## カ 分類表による書架の管理

“本にも住所があります”を合い言葉に、あるべき書架にあるべき本がある状態を徹底している。本を探す時間短縮にも繋がっている。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 朝読4原則に基づき、教職員も含め全校で朝読書に取り組んだ結果、1ヵ月に1冊以上本を読む生徒の割合が90%を越えた。

イ 新刊図書の案内や貸出冊数のグラフ、図書館だよりなどを工夫したところ、図書館に関心をもち、本を借りる生徒が増え、貸出図書数が前年度と比べ60%アップした。

### (2) 課題

「読書センター」、「情報センター」機能の充実は図れているので、「学習センター」機能を多くの教科に広げていきたい。

### (3) おわりに

中学生の活字離れが指摘される中、本校では朝読書を中心に読書に親しむ習慣が付き始めている。今後は、日本や世界のいわゆる文豪の作品にも挑戦する生徒を増やしていきたい。